

公式ホームページをリニューアルしました！

このたび、公式ホームページをリニューアルしました。また、日々の情報発信については公式ツイッターを活用し、情報発信を強化していきます。ぜひ、お気軽にご意見・フォローをお願いします。



■新しいホームページのURLは↓↓↓

<https://www.ochi-tatsu.com>

■QRコードはこちらから↓↓↓



編集後記

昨年の11月、村民が運動に親しむきっかけづくりを目的として、初めて開催した「スポーツフェスタ2021」。小学2年の息子と一緒にイベントのコマである「体力測定」に参加した。

私が小中学生の頃に毎年行っていた、いわゆる「スポーツテスト」の記憶が蘇ってきたものの、数十年ぶりに挑戦した反復横跳びでは、当時の軽快な足取りとは程遠く、膝から下が言うことをきかない。そして、私たちの時代には無く、平成11年に現在の「新体力テスト」が導入された20mシャトルランに初挑戦。息子の目の前で、少しでも良いところを見せようと奮闘する父親。

案の定、翌日夕方以降は足腰が悲鳴をあげる始末。本年は日常的な体力づくりに励みたい。

(し)

VOICE ~ リレーで綴る村民の声 ~



藤田 克俊さん
(白方在住)

茨城県住みたいまち上位の東海村。私が住み始めた20年前の自宅周辺のさつま芋畑は宅地になり、ランキング上位は体感できますが、駅周辺の開発など自然環境の減少も心配されます。

私の休日の楽しみは、阿漕ヶ浦公園でのウォーキング。公園の遊具施設には村内や周辺地域の子どもたちが大勢集まり、元気に遊ぶ光景からは東海村の発展が期待でき、微笑ましく感じます。

おち議員には、子どもたちが安全、元気に暮らせる自然豊かな東海村をめざして頂きたく、期待します。

年賀状の送付は、公職選挙法により規制されていますので本紙にて、新年のご挨拶とさせていただきます。

わかば通信

おち辰哉

東海村議会議員

第56号
令和4年1月発行

発行人：おち辰哉後援会
日立市多賀町4-1-19
(日立製作所労働組合 日立国分支部内)
TEL 0294(33)0615
FAX 0294(38)5522

日頃のご支援に感謝申し上げます。
 去年は、村長選挙や衆議院選挙の対応など大変慌ただしい1年でしたが、皆さまのおかげで良い結果を残すことができ、また感染症の状況も落ち着きを見せるなか、穏やかな新年を迎えることができました。
 迎えた新年が、皆さまにとって安寧な1年になることを、心よりご祈念申し上げます。

越智辰哉



NEWS ~ 東海村行政の身近なニュースをお伝えします ~



許せない! 不法投棄の撲滅を

村では、クリーン作戦などを通じた地域の環境美化運動や定期的な巡回パトロールを行い、村の環境保全活動に取り組んでいます。

しかしながら、昨年10月下旬に村内の石神地内および村松地内で、家屋を解体した際に出たと思われる廃材が不法に投棄される「ゲリラ的不法投棄」の事案が連続して発生しました。

こうした不法投棄を防ぐには、ごみを簡単に捨てられないような環境づくりに加え、早期発見が大切です。そのため、村役場では不法投棄に迅速・的確に対応するため、「ボランティア不法投棄等監視員」を随時募集しており、地域住民と一緒に対策を強化しています。

通勤や買い物、犬の散歩やジョギングなど、普段の生活のなかでできる不法投棄の監視に、ぜひご協力下さい。

連絡先：環境政策課生活環境保全担当
(MAIL: kankyou@vill.tokai.ibaraki.jp)





3回目のワクチン 接種予算を可決

令和3年12月定例会を、12月1日から20日までの会期で開きました。
今議会では、新型コロナウイルスの3回目のワクチン接種に係わる補正予算など全13件の議案が提出されましたが、慎重審議の結果、すべて原案のとおり可決しました。

CHECK! 「避難計画に関する住民請願」採決へ

現在、東海村では原子力災害時の広域避難計画を策定しており、取手市など避難先自治体と連携した広域避難訓練を実施しながら、計画案の実効性向上に向け継続的に取り組んでいます。

この広域避難計画の策定を巡り、先の6月議会において村商工会から「速やかな計画策定を求める請願」、住民団体から「計画策定には慎重を期し住民合意の確証を得る請願」がそれぞれ提出されました。これを受け、議会特別委員会において、村や県の担当課から避難計画策定の現状についてヒアリングし、議論を進めてきました。そして、12月17日に開催した委員会では、2件の請願は避難計画の中身ではなく、あくまでも「速やかな策定か／急ぐことなく慎重に策定か」いずれかを求める内容であることから、これ以上の調査は不要との意見が多数。次回の委員会にて、請願の論点整理を行い採決することとなりました。

最終的な結論は、年明け以降となりますが、東海第二の再稼働問題を巡る議会での議論が少しずつ進んでいます。



新年度の予算に関する要望書を提出

日常活動をともしする会派「新政とうかい」のメンバー11名で、次年度予算および村政に関する要望書を山田村長に提出しました。

とうかい～MOの割引キャンペーン、キャッシュレス決済ポイント還元事業に続く次なる消費喚起策の具現化や、原子力災害時の広域避難計画の速やかな策定などを求めました。



おち議員の 一般質問

一般質問とは・・・

住民を代表し、村政全般について村長など執行機関の考えや方針を問い質すものです。



総合体育館の空調設置を検討すべき

→ 必要性は高まっていると認識している

Q. 災害時の避難所としても指定されている総合体育館への空調設置をどう考えるか。

A. 総合体育館は、東日本大震災以降、避難所として使用したことはなく、また東海駅最寄りのエリアに新たにアイヴィルを整備したことを踏まえ、避難所全体のあり方を再整理する必要がある。現在進めている地域防災計画の見直し作業のなかで考察・検討を加えており、避難所環境の向上の観点からは、総合体育館への空調設置の優先度は低いと考えている。

Q. 災害時の避難所の位置付けが変わる可能性があるものの、熱中症対策など平常時の利用環境向上のためにも、総合体育館の空調設置に向けて検討すべきではないか。

近隣自治体で保有している体育館の空調設置の状況はどうか。

A. ひたちなか市や那珂市など近隣自治体では、最低1施設には空調設備が整った総合体育館を有している状況である。避難所対応はもとより、熱中症対策やスポーツ利用環境向上の観点から、総合体育館に整備する必要性は高まっていると考える。

基幹避難所となっているコミセンの多目的ホールへの空調設置との兼ね合いも含め整備の時期を見定めていく。



広報紙の配布は、今後どう対応するのか？

→ 来年度からは民間業者の委託で対応する



Q. 現状、広報とうかいの全戸配布はシルバー人材センターにて対応しているが、会員の高齢化等の影響から配布困難な地域が出ている。今後の広報紙配布はどう対応するのか。

A. 広報紙の配布は、平成19年度からシルバー人材センターによる全戸配布を行ってきた。しかし、会員の高齢化等が原因で次年度以降の配布業務の請負ができない旨の申し出があり、今後の広報紙のあり方等について検討を行ってきた。

その結果、広報紙配布に係る効果や近隣市町村の状況等を踏まえ、広報紙の全戸配布は令和4年度以降も継続すべきと判断し、配布業者については、年度内の競争入札で決まる予定となっている。

Q. 民間業者への委託により「全戸配布」が継続されるとのことで安心した。しかしながら、広報紙配布を行っている会員さんのなかには、自身の健康づくりや生きがいで配布しているという声もあるが、この点をどう考えるか。

A. 現在、広報紙の配布に係る会員は70名。うち広報紙の配布を継続したいという方は26名いるとのことであり、希望している方について賃金等の諸条件にもよるが、業者で引き続き雇用いただけるかについても、調整していきたい。